

ひろきた



センターだより

広島県立広島北特別支援学校
地域支援部
令和2年3月発行

今年度も残すところわずかとなりました。1年間、多くの園、所、学校へ訪問し、子どもたちへの支援を一緒に考える機会をいただきました。先生方の丁寧な取組や工夫と、子どもたちの成長に励まされることも多くあり、感謝しています。いくつかの取組を紹介します。

学習しやすい環境づくり



A 中学校には、すべての教室にこのような掲示物がありました。

- 教科ごとにそろえよう
- ファイルの上下が逆さまなのでなおそう
- ロッカーからはみ出したらアウト！

など、整理整頓のポイントを、写真と短い文章で具体的に示しています。これは、環境委員会の活動として、生徒たち自身が作成・掲示したものだそうです。分かりやすい掲示物を自分たちで作ることによって、学習しやすい環境への意識がより高まりますね。

また、特に整理が苦手な生徒へは、一旦何でも入れることのできる「OOさんBOX」を準備し、定期的に支援者と一緒に整理する時間を設けたところ、なくしものが減ったということでした。

色つきスリットシート

文章を読むときに、どこを読んでいるか分からなくなってしまうため、支援具としてスリットシートが必要な児童生徒も多いと思います。

ここでは、手作りの色つきスリットシートを御紹介します。



飛ばさずに最後まで読めました！

読みやすいシートの色や幅、補助ラインの有無には個人差があります。サンプルを準備していますので、必要があれば御相談ください。

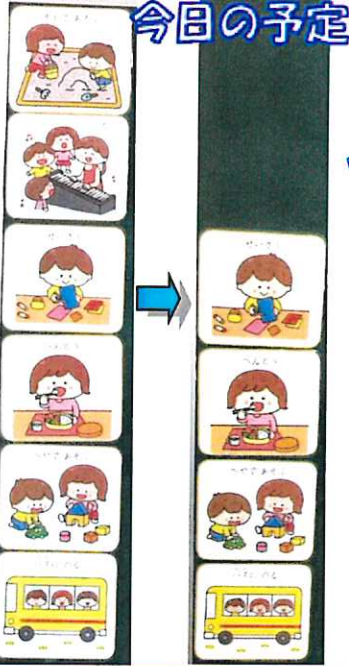


- 色つきクリアファイルを適当な幅に切り、マスキングテープを貼って枠を作ります。
- 色がついていることによって、紙と文字の色のコントラストが抑えられ、読みやすくなります。
- 枠のマスキングテープは、濃い色で光沢のないものがお勧めです。

- 幅を広めにし、マジックで引いたラインをガイドにする方が読みやすい人もいます。

分かりやすい教室環境

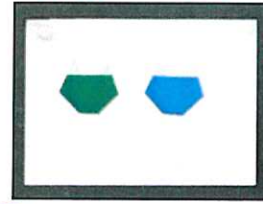
B幼稚園では、子どもたちが分かって活動できるように、自分で動けるように、見て分かる支援がたくさんありました。年中組を見せていただきました。



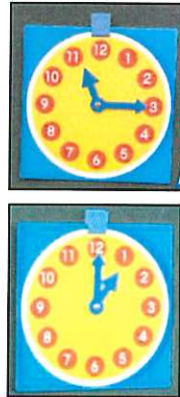
今日の予定

「今日の予定」は、その項目が終わると外して、あとどれだけの活動があるのか分かるようにしていました。大きなイラストが分かりやすいです。

制作の見本



「今日は、この鬼をつくりましょう。」と見本を示し、子どもたちにイメージをもってもらってから、作り方の説明に入ります。



終わりの時刻
「遊びはこの時間までよ」「お弁当は1時までには食べましょう」と子どもたちに終わりの時刻を伝えます。

椅子を片付ける場所

椅子の片付けの時には、枠を目印に子どもたちが自分で椅子を重ねていきます。



キャッシュレス時代到来!

本校中学部の授業を紹介します。

最近、私たちは、電車やバスに乗る時、買い物等の支払いをする時、現金を使わずに支払いをすることが多くなっているのではないのでしょうか。お金のやり取りの学習も行いつつ、中学部では、お金をチャージして使う「電子マネー学習」をしました。



電子黒板の画面をタッチしてプリペイドカードに1,000円チャージします

チャージの音がします



やりたいゲームや買う物が決まると、購入者は、レジに行って、カードを端末機にタッチ!

端末機はVOCA(録音された音声を再生する装置)を使っているので、押すと、予め録音された声が出ます

わお~O



会計係は、iPadアプリ「レジスタディ」の画面をタッチして、販売の仕事を行います



こんなお店たちがありました



〈連絡先〉 広島県立広島北特別支援学校

〒731-0212 広島県広島市安佐北区三入東1丁目25-1

電話：(082) 818-1201 FAX：(082) 818-1203

<http://www.hiroshimakita-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

担当 教育相談主任(妹尾千津 清田朋子)